

科目番号	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61035	特別活動	2単位 後期	3	講義	芳澤 拓也

■テーマ 集団的な学び、その計画と指導

※授業は、この授業は旧「教育職員免許法施行規則」に定める「教職に関する科目」、新「教育職員免許法施行規則」における「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」であり、教職必修科目です。

■授業概要 【題目】「特別活動」の研究

ここでは、「なすことによって学ぶ」（特別活動）という学習論・指導原理を学んでいきます。具体的には、「なすこと」による学習が、①学校教育の中で歴史的にどのように位置づけられてきたか、②学習指導要領においてどのように位置づけられているか、③他教科や地域との関わりを含めつつ、どのように計画、実践、評価するものとして構想されているのか、これらを具体的な事例を参照しながら学んでいきます。学習を通じて、「なすこと」による学習が、求められる資質・能力論との関係で再構成されつつあることを理解しつつ、集団や社会の中で通用する自分づくりのあり方について考察していきたいです。

■到達目標

- ①学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を知り、理解することができる。
- ②教育課程における特別活動の位置づけと他教科等との関連を知り解説することができる
- ③学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特質と指導のあり方を知り、解説することができる。
- ④合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を知り、例示することができる。

■授業計画・方法

	授業内容	準備学習
1	「特別活動」における学び—集団的な学び、合意形成、意志決定—	特になし
2	特別活動の歴史—戦前・戦中・戦後、学習指導要領における特別活動の位置づけ—	授業後、授業内容のふりかえりを行って下さい。授業で学んだ内容に関わって広く社会へ向けてセンサーを広げて欲しいと考えています。授業時間外において、情報を収集したり、読書をしたりしてください。
3	特別活動における「指導」の意味	
4	学習指導要領から読み取る特別活動の目標と内容—3つの領域と育成が目指される資質・能力—	
5	年間（行事）計画と生徒会の役割	
6	教室内の人間関係①—「スクール・カースト」とは何か—	
7	教室内の人間関係②—「スクール・カースト」をどう読むか—	
8	学級経営の見通し①—学級目標・いじめの萌芽への指導例—	
9	学級経営の見通し②—学級組織の編成・生徒会との連携・合意形成—	
10	学級経営の見通し③—学校行事の活用・トラブルと班の活用・合意形成・意志決定—	
11	発達障がいのある生徒とともにある特別活動	
12	生徒の実態と年間計画—年間計画・他教科とのかかわり・地域連携—	
13	学級経営案と学級活動指導案	
14	学級活動指導案の作成	
15	キャリア教育と特別活動	

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

教職課程関連の所定の科目を履修済みであること。

■成績評価の方法

□方法 平常点（10点）、グループワーク、提出物、レポート（90%）。平常点は授業への参加意欲、「ふりかえりシート」の内容等で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献

『中学校学習指導要領』（最新版）、『高等学校学習指導要領』（最新版）、『中学校学習指導要領解説 特別活動編』（最新版）、『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』（最新版）。他の参考文献は、授業の中で適宜紹介します。